

令和5年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	みやざき まさみ	
氏名	宮崎 昌美	
所属・役職	元 入間市 政策参与（自治体 DX・行政改革） 株式会社アイネス 事業企画本部 シニアコンサルタント	
活動拠点	関東	
略歴	<p>1987 年 4 月 狭山市入庁 （市民税課、情報システム課、広報課、行革推進課、障害者福祉課を経験）</p> <p>2013 年 4 月 広報課長</p> <p>2016 年 4 月 総合政策部次長（兼 行政経営課長）</p> <p>2018 年 4 月 福祉こども部次長（兼 福祉政策課長）</p> <p>2019 年 4 月 株式会社アイネス シニアコンサルタント</p> <p>2021 年 4 月 入間市政策参与（自治体 DX・行政改革）</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ DX 推進機運を醸成するためのマインドシフト研修 ・ 政策・行革面からの自治体 DX 研修（首長・経営層向けセミナー、階層別職員研修、議員研修） ・ DX 推進体制の構築、政策・施策を DX 化するための助言 ・ 福祉情報を一元化し、相談支援、総合窓口業務、支援度合いが見える化した災害発生時の支援に活用する（被災者支援システムと連携） ・ 携帯電話やスマホを活用した情報発信と情報弱者解消策の提案 ・ 災害発生時における職員（消防職員、消防団員含む）の参集状況と被災状況の把握、児童・生徒の引き取り連絡等への携帯電話やスマホの活用 ・ Web アクセシビリティ ・ SNS やメール配信、パブリシティを活用した戦略的情報発信とシティプロモーション 	
専門分野	<p>AI 活用 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DX に関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 防災 ICT 活用広報 その他</p>	
自治体向けメッセージ	<p>自治体 DX の本質は、政策面からアプローチと意識改革があって初めて見えるもの。首長をはじめ幹部の理解は欠かせません。また、DX は難しく考えがちですが、「楽する」ために「楽しく」取り組むべきものです。もう我慢するのはやめましょう。</p> <p>特に福祉部局の情報は宝の山。DX のカギはここにあり。地域共生社会の実現もデジタルが助けてくれます。</p> <p>また、インフォメーションとしての情報は、「伝えること」よりも「伝わるこ</p>	

		と」が重要です。日本語の情報としての価値を磨き、情報弱者を生まない情報化も進めましょう。 実践してきた事例とともにお伝えします。
	関連サイト	
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<ul style="list-style-type: none"> ・DX推進機運醸成とデジタル行革の実践 ・自治体DX推進ビジョン等の作成支援 ・福祉情報の一元化により多面的な活用ができる汎用型システム開発（被災者支援システムとの連携も実現） ・万能型モバイルサイト構築（全キャリア・全機種対応, 全キャリア公式メニュー掲載） ・携帯電話等による緊急時職員参集システム開発（児童生徒等の引き取り等へも展開） <p>【これまでの講演テーマ】</p> <p>自分事になった「自治体DX」との向き合い方、福祉部門情報の一元化と多面的活用、福祉総合相談窓口のデジタル活用、地域共生社会とDX、被災者支援システム（J-LIS 所管）の構築と運用実績、危機管理下における福祉情報の活用、住民地図の活用、ウェブアクセシビリティ、情報弱者を生まないモバイルサイト、携帯電話を活用した職員参集システム、パブリシティによる地域活性化、障害者基幹相談支援センターと ICT 活用など</p>
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	<p>総務省オンライン利用促進ワーキンググループ委員（2007・2008 年度）</p> <p>LASDEC 地方支援アドバイザー（登録は狭山市）（2013 年度）</p> <p>JAISA 生体認証を用いた被災者支援システムの研究開発検討委員会委員（2016 年度）</p>